



# Dr.林の 足のお悩み 相談室

## 切らずに治療②

れます。日本でも「PRP療法」は美容整形のアンチエイジングの治療法として使われています。血液を患者さんの腕から採血し、遠心分離機に掛けて凝縮された血小板だけを抽出します。それを顔に注射して、筋肉部からの若返りを図るといっても

です。米国では、「PRP療法」は整形外科やスポーツ医学の分野で知られています。治療の方法

針で慢性痛の腱(けん)やじん帯にいくつもの小さい穴を開け、「新しいケガ」を作ります。この「ケガ」により、修復するのを忘れてしまった「慢性化」した患部に「急性」の炎症を起すことで、体が患部に「修復シグナル」を送り、このPRPを使いながら、また修復を再起動して新しい腱やじん帯を作ってくれるのです。米食品医薬品局(FDA)で度急性の「炎症を起こす」ことで、自分の体に自然治癒を促すということなのです。なので、この「血小板再生治療」の後も「体外衝撃波治療」と同様、何カ月かは冷やしたり、消炎剤を飲んだりしてはいけません。皮肉なことは、ステロイド注射などで「炎症を抑える」ことで痛みを抑える一昔前の慢性痛の治療に對する考え方とは、原理が全く逆だということです。

## 「血小板再生治療」は腱などの若返りを図る

効果が高い  
上、切開手術  
と違って早期

は美容整形の場合と同じなのですが、顔の皮膚ではなく、ケガをした腱やじん帯などの若返りを図ります。

この治療が認められている部位は、固定やリハビリなどの非手術的な治療を半年以上行っても効果がなかった慢性アキレス腱、足底腱膜炎、テニス肘(ひじ)などです。また、慢性の床ずれなどの創傷治癒促進として

この治療は、切開する必要がないのでオフィス内で行えます。腕から採血した血液から

「若返り栄養素(PRP)」をも抽出し、局部麻酔で患部を麻痺させ、患部にこの「PRP」を注入しながら注射

「血小板再生治療」は英語で「Platelet Rich Plasma Therapy」(PRP)と呼ば

れ、「体外衝撃波治療」や「血小板再生治療」の二つの最新治療に共通していることは、もう一

つ、自分の血液を使うので、アレルギーや副作用もなく安心です。